上ルギモド非

Lumnitzera racemosa

絶滅危惧IA

科名

シクンシ

べつ めい

別名



がん分 もくほんるい
木本類 区

まきなわほんとういなん ちゅうごくなんぶ たいわんとう 沖縄本島以南、中国南部、台湾等

かたちの形 たえんけい 精円形、さかさ卵形

ぜんえん 葉の縁

葉の先門形、凹形

葉の種類

葉の付方 互生

葉の基部 くさび形

実の種類

マングローブ林の最も陸域部に生育し、高さは西表島では約5m程度になります。花び らが5枚の小さな白い花をつけます。実は楕円形で小粒です。葉は両面で光合成ができる 説 しく とうめんよう は きき おうけい いりおもてじま ぶなうられん せいぶ ちぃき 仕組み (等面葉) になっており、葉の先は凹形です。西 表島では船浦湾など西部地域でよ く覚られます。